

2022年7月10日(日)施行

第207回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解答

第1問

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	開業費	5,000,000	当座預金	5,000,000
2	仕入	300,000	当座預金	180,000
			当座借越	120,000
3	現金	200,000	償却債権取立益	200,000
4	仕入	400,000	本店	400,000
5	未払法人税等	123,000	納税準備預金	123,000
6	受取手形	7,000,000	受取手形	7,000,000
	現金	140,000	受取利息	140,000
7	繰越利益剰余金	800,000	損益	800,000

第2問

期末売掛金	期末繰越利益剰余金	当期純利益	売上総利益
¥ 101,000	¥ 400,000	¥ 200,000	¥ 300,000

第3問

商 品 有 高 帳

A 商 品

令 和 4 年	摘 要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	
4	1	前月繰越	100	200	20,000				100	200	20,000
	5	山口商店	500	230	115,000				600	225	135,000
	13	山口商店				100	230	23,000	500	224	112,000
	19	島根商店				250	224	56,000	250	224	56,000
	24	岡山商店	350	260	91,000				600	245	147,000
	27	広島商店				500	245	122,500	100	245	24,500
	28	広島商店	20	245	4,900				120	245	29,400
	30	次月繰越				120	245	29,400			
			970		230,900	970		230,900			

純売上高	売上原価	売上総利益 (粗利益)
¥ 534,000	¥ 173,600	¥ 360,400

第4問

①取引を擬制する（いったん全額を掛取引とみなして処理する）方法

入金伝票		出金伝票	
科目	金額	科目	金額
(売掛金)	(400,000)	(買掛金)	(700,000)

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
科目	金額	科目	金額
(仕入)	(800,000)	(買掛金)	(800,000)

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
科目	金額	科目	金額
(売掛金)	(500,000)	(売上)	(500,000)

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
科目	金額	科目	金額
(受取手形)	(600,000)	(売掛金)	(600,000)

仕訳集計表

令和4年5月10日

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
400,000		(現金)		700,000
500,000		売掛金		1,000,000
600,000		(受取手形)		
700,000		買掛金		800,000
		売上		500,000
800,000		仕入		
3,000,000				3,000,000

②取引を分解する方法

入金伝票		出金伝票	
科目	金額	科目	金額
(売上)	(400,000)	(仕入)	(700,000)

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
科目	金額	科目	金額
(仕入)	(100,000)	(買掛金)	(100,000)

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
科目	金額	科目	金額
(売掛金)	(100,000)	(売上)	(100,000)

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
科目	金額	科目	金額
(受取手形)	(600,000)	(売掛金)	(600,000)

第5問

精 算 表

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	232,000		19,000	5,000			246,000	
当座預金	463,000						463,000	
売掛金	560,000			10,000			550,000	
貸倒引当金		6,000		5,000				11,000
売買目的有価証券	128,000		20,000				148,000	
繰越商品	491,000		318,000	491,000			318,000	
仮払金	50,000			50,000				
仮払法人税等	6,000			6,000				
備品	600,000						600,000	
備品減価償却累計額		150,000		75,000				225,000
買掛金		528,000						528,000
借入金		500,000						500,000
資本金		1,000,000						1,000,000
資本準備金		200,000						200,000
利益準備金		150,000						150,000
繰越利益剰余金		100,000						100,000
売上		4,332,000				4,332,000		
受取手数料		34,000	8,000			26,000		
仕入	2,146,000		491,000	318,000	2,319,000			
給料	934,000				934,000			
旅費	541,000		55,000		596,000			
支払家賃	720,000			360,000	360,000			
支払手数料	41,000		5,000		46,000			
水道光熱費	82,000				82,000			
消耗品費	6,000			2,000	4,000			
	7,000,000	7,000,000						
貸倒引当金繰入			5,000		5,000			
減価償却費			75,000		75,000			
有価証券運用損益				20,000		20,000		
消耗品			2,000				2,000	
雑(益)				9,000		9,000		
(前払)家賃			360,000				360,000	
(前受)手数料				8,000				8,000
(未払)手数料				5,000				5,000
法人税等			9,000		9,000			
(未払)法人税等				3,000				3,000
当期純(損失)						43,000	43,000	
			1,367,000	1,367,000	4,430,000	4,430,000	2,730,000	2,730,000

2022年7月10日（日）施行

第207回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 会社設立後営業を開始するための諸費用は、開業費勘定を用いて処理をする。
2. 商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った場合には、当座預金勘定の減少の処理をする。ただし、当座預金勘定の残高が不足した場合には、不足額は当座借越勘定を用いて処理をする。（取引銀行との間で当座借越契約を結んでいて、二勘定制を採用している場合）
3. 前期に貸倒れとして処理していた売掛金を現金で回収した場合には、回収した金額を償却債権取立益勘定を用いて処理をする。
4. 支店が本店より商品を受け取った場合には、仕入勘定を用いて原価で処理をする。また、支店は本店より商品を受け取ったため、貸方には本店勘定を用いて処理をする。（支店独立会計制度を採用している場合）
5. 確定申告を行い、前期法人税等確定額のうち未払分は未払法人税等勘定で処理されている。その未払分を納付した場合には、未払法人税等勘定の減少の処理をする。また、納税準備預金から納付したため納税準備預金勘定の減少の処理をする。
6. 受け取っていた約束手形について、手形の更改の申し出を了承した場合には、旧手形分の受取手形勘定の減少の処理をし、新手形分の受取手形勘定の増加の処理をする。また、手形の支払期日を延長することに伴う利息については、受取利息勘定を用いて処理をする
7. 当期決算において、当期純損失が算定された場合には、損益勘定から繰越利益剰余金勘定へ振り替えの処理をする。

当期純利益が算定された場合

(借) 損	益	×××	(貸) 繰越利益剰余金	×××
-------	---	-----	-------------	-----

当期純損失が算定された場合

(借) 繰越利益剰余金	×××	(貸) 損	益	×××
-------------	-----	-------	---	-----

第2問

期首貸借対照表

現金	224,000	買掛金	112,000
売掛金	336,000	借入金	246,000
商品(繰越商品)	(448,000)	資本金	(1,000,000)
建物	550,000	繰越利益剰余金	(200,000)
	<u>1,558,000</u>		<u>1,558,000</u>

仕入

期中総額	1,680,000	仕入戻し	168,000
繰越商品	(448,000)	繰越商品	(437,000)
		損益	(1,523,000)
	<u>(2,128,000)</u>		<u>(2,128,000)</u>

損益

仕入	(1,523,000)	売上	(1,823,000)
その他費用	2,022,000	その他収益	1,922,000
(繰越利益剰余金)	(200,000)		
	<u>(3,745,000)</u>		<u>(3,745,000)</u>

繰越利益剰余金

次期繰越	(400,000)	前期繰越	200,000
		損益	(200,000)
	<u>(400,000)</u>		<u>(400,000)</u>

期末貸借対照表

現金	257,000	買掛金	179,000
売掛金	(101,000)	借入金	346,000
商品(繰越商品)	437,000	資本金	(1,100,000)
建物	1,230,000	繰越利益剰余金	(400,000)
	<u>(2,025,000)</u>		<u>(2,025,000)</u>

売上

売上値引	637,000	期中総額	2,460,000
損益	(1,823,000)		
	<u>2,460,000</u>		<u>2,460,000</u>

資本金

次期繰越	(1,100,000)	前期繰越	(1,000,000)
		増資	100,000
	<u>(1,100,000)</u>		<u>(1,100,000)</u>

1. 期首貸借対照表借方より、商品(繰越商品) ¥448,000 を求め、仕入勘定の借方の繰越商品の金額も ¥448,000 となる。
2. 繰越利益剰余金勘定の貸方の前期繰越より、期首貸借対照表の貸方の繰越利益剰余金が ¥200,000 となる。
3. 期首貸借対照表の貸方の資本金の金額 ¥1,000,000 を求め、資本金勘定の前期繰越の金額 ¥1,000,000 となる。
4. 資本金勘定の借方の次期繰越の金額 ¥1,100,000 を求め、期末貸借対照表の貸方の資本金の金額 ¥1,100,000 となる。
5. 期末貸借対照表の借方の商品(繰越商品) ¥437,000 は、仕入勘定の貸方の繰越商品の金額 ¥437,000 となる。
6. 仕入勘定の貸借差額(売上原価) ¥1,523,000 を求め、損益勘定の借方の仕入の金額 ¥1,523,000 となる。
7. 売上勘定の貸借差額より ¥1,823,000 を求め、損益の貸方の売上の金額 ¥1,823,000 となる。
8. 損益勘定の貸借差額より ¥200,000 を求め、繰越利益剰余金勘定の貸方の損益の金額 ¥200,000 となる。この ¥200,000 が当期純利益である。
9. 繰越利益剰余金勘定の貸方の合計 ¥400,000 が次期繰越の金額 ¥400,000 となり、期末貸借対照表の貸方の繰越利益剰余金の金額 ¥400,000 となる。
10. 期末貸借対照表の貸方合計 ¥2,025,000 を求め、期末貸借対照表の借方の売掛金の金額 ¥101,000 を求める。
11. 売上総利益は、損益勘定に振り替えられた売上の金額 ¥1,823,000 から損益勘定に振り替えられ

た仕入の金額¥1,523,000を差し引きで売上総利益¥300,000を求める。

期末売掛金	:	上記10.より	<u>¥ 101,000</u>
期末繰越利益剰余金	:	上記9.より	<u>¥ 400,000</u>
当期純利益	:	上記8.より	損益勘定の繰越利益剰余金勘定への振り替えの金額 <u>¥ 200,000</u>
売上総利益	:	上記11.より	純売上高¥1,823,000－売上原価¥1,523,000＝ <u>¥ 300,000</u>

第3問

4月1日 前月繰越 100個 @¥200 ¥20,000

4月5日 商品有高帳の受入欄に記入 500個 @¥230 ¥115,000

(借) 仕入	115,000	(貸) 買掛金	115,000
--------	---------	---------	---------

平均単価 (¥20,000+¥115,000) ÷ (100個+500個) = @¥225

商品有高帳の残高 600個 @¥225 ¥135,000

4月13日 商品有高帳の払出欄に記入 100個 @¥230 ¥23,000

(借) 買掛金	23,000	(貸) 仕入	23,000
---------	--------	--------	--------

平均単価 (¥135,000－¥23,000) ÷ (600個－100個) = @¥224

商品有高帳の残高 500個 @¥224 ¥112,000

4月19日 商品有高帳には原価で払出欄に記入 250個 @¥224 ¥56,000

(借) 売掛金	150,000	(貸) 売上	150,000
---------	---------	--------	---------

売上の金額 250個×@¥600=¥150,000

商品有高帳の残高 250個 @¥224 ¥56,000

4月24日 商品有高帳の受入欄に記入 350個 @¥260 ¥91,000

(借) 仕入	91,000	(貸) 当座預金	91,000
--------	--------	----------	--------

平均単価 (¥56,000+¥91,000) ÷ (250個+350個) = @¥245

商品有高帳の残高 600個 @¥245 ¥147,000

4月27日 商品有高帳には原価で払出欄に記入 500個 @¥245 ¥122,500

(借) 売掛金	400,000	(貸) 売上	400,000
---------	---------	--------	---------

売上の金額 500個×@¥800=¥400,000

商品有高帳の残高 100個 @¥245 ¥24,500

4月28日 商品有高帳には原価で受入欄に記入 20個 @¥245 ¥4,900

(借) 売上	16,000	(貸) 売掛金	16,000
--------	--------	---------	--------

売上返品の本額 20個×@¥800=¥16,000

商品有高帳の残高 120個 @¥245 ¥29,400

純売上高

¥150,000(4/19) + ¥400,000(4/27) - ¥16,000(4/28) = ¥534,000

売上原価：商品有高帳より

¥56,000(4/19) + ¥122,500(4/27) - ¥4,900(4/28) = ¥173,600

売上総利益（粗利益）

 $\text{¥}534,000 \text{（純売上高）} - \text{¥}173,600 \text{（売上原価）} = \underline{\text{¥}360,400}$

第4問

① 擬制する（いったん全額を掛取引とみなして処理する）方法

5月10日

(借) 仕入	800,000	(貸) 買掛金	800,000	→ 振替伝票
(借) 買掛金	700,000	(貸) 現金	700,000	→ 出金伝票

5月10日

(借) 売掛金	500,000	(貸) 売上	500,000	→ 振替伝票
(借) 現金	400,000	(貸) 売掛金	400,000	→ 入金伝票

5月10日

(借) 受取手形	600,000	(貸) 売掛金	600,000	→ 振替伝票
----------	---------	---------	---------	--------

仕訳集計表

現金	借方（入金伝票より）	¥400,000
	貸方（出金伝票より）	¥700,000
売掛金	借方（振替伝票より）	¥500,000
	貸方（入金伝票・振替伝票より）	¥400,000 + ¥600,000 = ¥1,000,000
受取手形	借方（振替伝票より）	¥600,000
買掛金	借方（出金伝票より）	¥700,000
	貸方（振替伝票より）	¥800,000
売上	貸方（振替伝票より）	¥500,000
仕入	借方（振替伝票より）	¥800,000

② 分解する方法

5月10日

(借) 仕入	700,000	(貸) 現金	700,000	→ 出金伝票
(借) 仕入	100,000	(貸) 買掛金	100,000	→ 振替伝票

5月10日

(借) 現金	400,000	(貸) 売上	400,000	→ 入金伝票
(借) 売掛金	100,000	(貸) 売上	100,000	→ 振替伝票

5月10日

(借) 受取手形	600,000	(貸) 売掛金	600,000	→ 振替伝票
----------	---------	---------	---------	--------

第5問

付記事項

仮払金の精算の処理

(借)	旅	費	55,000	(貸)	仮	払	金	50,000
					現	金		5,000

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高 ¥232,000 - ¥5,000 (付記事項) = ¥227,000

実際有高 ¥246,000

差 額 ¥246,000 - ¥227,000 = ¥19,000 (実際有高に合わせるため、現金を増加させる)

売掛金を回収した際に ¥37,000 を ¥27,000 と誤記入していたため売掛金を ¥10,000 減少させる処理をする。

残額は、原因が判明しなかったため、雑益勘定または、雑損勘定を用いて処理をする。

(借)	現	金	19,000	(貸)	売	掛	金	10,000
					雑	益		9,000

2. 売上原価の算定

(借)	仕	入	491,000	(貸)	繰	越	商	品	491,000
	繰	越	商	品	仕	入			318,000
			318,000						318,000

3. 貸倒引当金の見積もり

貸倒引当金の見積もりの金額

{ ¥560,000 - ¥10,000 (決算整理事項 1.) } × 2% = ¥11,000

貸倒引当金繰入額

¥11,000 - ¥6,000 = ¥5,000

(借)	貸	倒	引	当	金	繰	入	5,000	(貸)	貸	倒	引	当	金	5,000
-----	---	---	---	---	---	---	---	-------	-----	---	---	---	---	---	-------

4. 備品の減価償却費の計上

¥600,000 ÷ 8年 = ¥75,000

(借)	減	価	償	却	費	75,000	(貸)	備	品	減	価	償	却	累	計	額	75,000
-----	---	---	---	---	---	--------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

5. 売買目的有価証券の評価替え

帳簿価額 ¥128,000

時 価 ¥148,000

差 額 ¥148,000 - ¥128,000 = ¥20,000 (有価証券運用益となる)

(借)	売	買	目	的	有	価	証	券	20,000	(貸)	有	価	証	券	運	用	損	益	20,000
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	--------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

6. 消耗品費の処理

(借)	消	耗	品	2,000	(貸)	消	耗	品	費	2,000
-----	---	---	---	-------	-----	---	---	---	---	-------

7. 家賃の前払高 (費用の繰り延べ)

(借) 前払家賃	360,000	(貸) 支払家賃	360,000
----------	---------	----------	---------

8. 手数料の前受高 (収益の繰り延べ)

(借) 受取手数料	8,000	(貸) 前受手数料	8,000
-----------	-------	-----------	-------

9. 手数料の未払高 (費用の見越し)

(借) 支払手数料	5,000	(貸) 未払手数料	5,000
-----------	-------	-----------	-------

10. 未払法人税等

$$¥30,000 \times 30\% = ¥9,000$$

(借) 法人税等	9,000	(貸) 仮払法人税等	6,000
		未払法人税等	3,000